

# えひめいきもの応援キッズレポート ていしつよう (提出用)

名前 なまえ 加藤 由太郎

作成日 さくせいび 1月6日(水)

## 1. 選んだ生きもの えらんだいきものなまえ の名前

※写真やスケッチがある場合は、このレポートと一緒に提出してください。

種名 しゅめい ニホンカワウソ

学名 がくめい Lutra nippon

愛媛県レッドデータブックの категория あいゑけん 絶滅危惧IA類(CR)

## 2. 選んだ理由 えらんだりゆう (調べようと思ったきっかけ)

- 何故絶滅したかに興味があったから。
- 本当に絶滅したのか知りたかったから。
- どのような場所(環境)に生息しているのかに興味があったから。
- ニホンカワウソはどのように人間が利用していたかを知りたかったから。
- コツメカワウソとの違いを知りたかったから。
- ニホンカワウソは垂種かを知りたかったから。

## 3. 選んだ生きもの えらんだいきもの の特徴

予想していたこと よそうしていたこと

- 人間が乱獲をしたから絶滅した。
- 雌のほうが雄より大きい。
- 貝を主食としている。
- 海水では過ごせない。

調べてみて分かったこと しらべてみて分かったこと

- 人間の乱獲や人間の自然はかい、わなにかかるとして絶滅した。
- 雌のほうが雄より大きい。
- 魚介類、とくにエビ・カニを好食する。
- 海水でも淡水でも過ごせる。

## 4. 各パートナーズ施設へ行って、どうやって調べたのか

愛媛県生物多様性センター 行っていない

愛媛県総合科学博物館 剥製や毛皮を見せてもらった。

愛媛県立とべ動物園 ニホンイシガメ ジムグリのこと

面河山岳博物館 両生類・爬虫類のこと

虹の森公園 おさかな館 ニホンウナギのこと

5. 聞いたり、調べたりした内容、分かったこと (結果)

(例1) 生きものがある環境 (例2) 数が少なくなった理由

南予地方の海岸や島嶼部愛媛に生息しているのはニホンカワウソ

頭胴長 55~58cm 尾長 35~56cm 体重 4.2~11.5kg. 背中はいげ茶色、胸から腹側は白、ほい毛色をしている。頭は平たく耳は小さい。手足は短く指の間におくかきがあり尾は太く黄にへん平。河川湖沼海浜地帯などの川岸に巣穴を掘って生息する。主に朝夕薄暮の時間帯に活動する。

国指定特別天然記念物愛媛県の県魚。戦争時にはえはきなどにニホンカワウソの毛皮などに利用されていた。

他のカワウソに比べて少し大型のカワウソ。

地方名は「ろすや」おそ

ほくせいの数は愛媛県立総合博物館が401本で世界一。イタチ科。

現在も時々目撃などの報告が「あるが」人目につかず中型の動物が生息しているとは考えにくい。

2012年8月環境省発表の第4次絶滅のおそれのある野生生物の種リストで絶滅と判断された。

1975年日本最後につかまれたカワウソ。高島。

産地は11。→やわらかい。ぬれぬれ。せき。

産地が下からい。おんがすとよはれるマキノクをな物は「ル」お。音も内陸にいた?

6. 今後、どんな生きものについて学んでみたいか

今後ニホンカモシカ、ニホンオオカミ、スナドリ、ツキワグマ、ニホンウサギ、ユウモリ、ニホンモモンガ、ヤマネ、ワタカ、ユリハス、ワカラ、バト、ヒワイナ、ヨダカ、カンムリ、スズメ、ハチマ、オオタカ、サシバ、ハヤブサ、トラフス、ワカウ、ガメ、ニホンイシガ、メダカ、モリ、イシツチ、カスミ、ユカタグ、シユカ、ユネ、オオサシ、アカハラモリ、ニホンヒキ、ナゴヤダル、トリス、ニホンアマガエル、オウナギ、オキンプナ、ヤリタゴ、スナヅメ、種、ヌマムツト、ジョウ、アカザ、ニホンイトヨ、アカメなど近年絶滅したりしそうな生き物を学びたい。

7. その他、参考にしたもの

参考資料  
レッドデータブック2014(愛媛県)、学研の図鑑動物



ニホンカワウソ

加藤由太郎

